

メンテックワールド社長 小松節子のハートフルメッセージ



海外展開の礎になったメキシコ進出

弊社は、2011年に「東広島から世界へ」との願いを込め、社名をメンテックからメンテックワールドに変更しました。その海外に目を向ける礎になったのが、13年、メキシコに現地法人を設立したことです。

メキシコへの進出は、マツダがメキシコのサラマンカ市に新工場(MMVO)を建設することになったのがきっかけです。「マツダ様のお役に立ちたい」と、4社との国際競争入札を勝ち取り、MMVO内に事務所を、近くに本社事務所を設けることになりました。

現地法人には、現在、70人のメキシコ人社員が在籍しています。社員を束ね、組織の中心となって活躍しているのは、弊社の元協力会社の社員だった日本人社長と、弊社が日本で採用したラトビア出身の女性です。日本人社長は、08年のリーマンショックで廃業になった協力会社の社員を受け入れたうちの一人。ラトビア人女性は、5カ国語が話せる有能な方で、マネジャーを務めています。彼女らの成長を見るにつけ、ダイバーシティ経営に取り組んできた成果を実感しています。

コロナ禍等で、部品の調達が困難になり、コロナ前と比べると売り上げは下がりましたが、幸い赤字は出していません。「チームメキシコ」で逆境を乗り切り、販路を拡大していきたいと思っています。